

人民元週間レポート

2025年8月15日発行

みずほ銀行（中国）有限公司
中国為替資金部

MIZUHO

瑞穗銀行

【人民元為替概況】

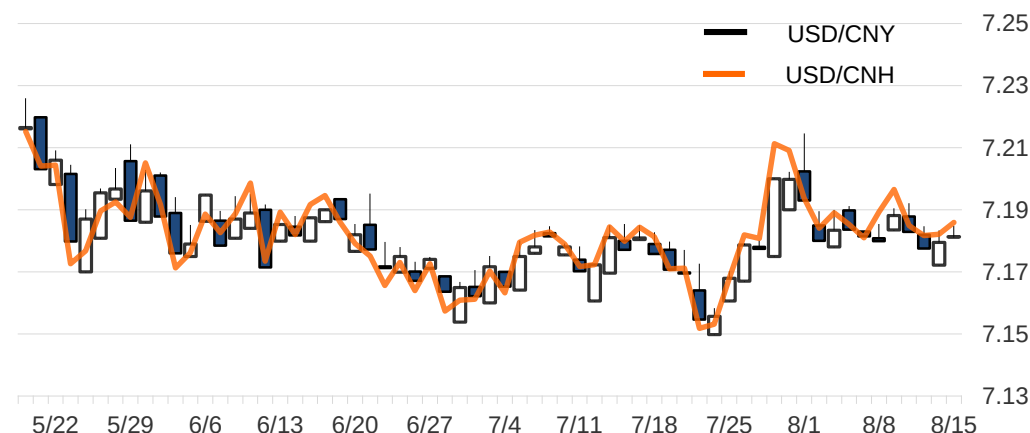
回顧:USDCNYは7.16～7.19台を中心に方向感に欠ける展開

- ドル人民元(USDCNY)は11日、7.18台前半でオープン。米金利上昇等からドル高の流れが続き、12日には週間を通じた高値である7.1920まで上昇。同日夜間に発表された米7月CPIが市場予想を下回ったことを受けて、ドル売り地合いに流れが一変。14日にはPBOC基準値が年初来元高水準を更新したこと等も受けて寄り付き後に一時7.16台後半まで下落した。その後、同日夜間の米7月PPIが予想対比堅調な結果となったことを受けて再び7.18レベル付近まで水準を戻す展開となった。15日正午時点、7.18台前半を推移している。
- 円人民元(JPYCNY)は11日、4.86台半ばでオープン。12日には148円台後半へ上昇していたUSDJPYが、米CPIの結果やベッセント米財務長官の発言を受けて146円台前半まで下落する流れに、JPYCNYも4.84台前半から4.90台半ばまで円高方向へ推移する展開となった。14日の米PPIの堅調推移を受けて再びUSDJPYが円売り優勢となったことで、15日正午時点、4.87台後半で推移している。

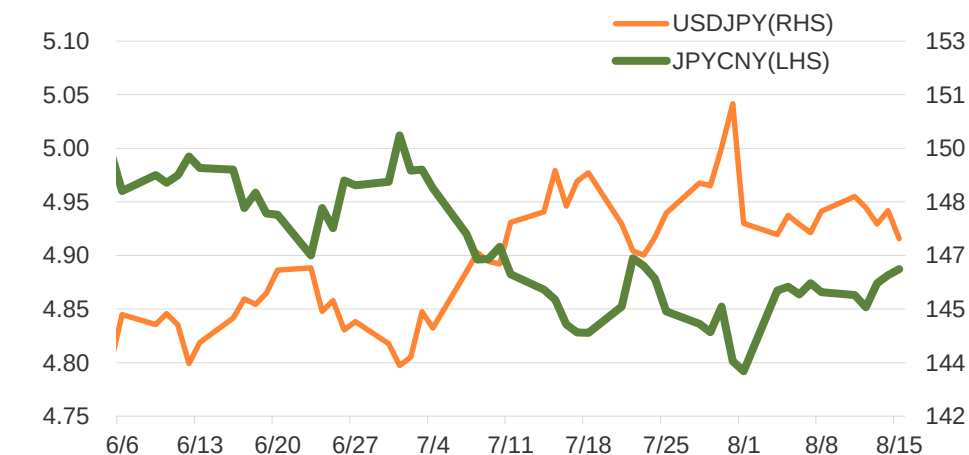
見通し:ジャクソンホールでのパウエル議長発言内容に注目

- 15日に発表された中国国内主要統計は市場予想を下回った結果となった。追加経済対策への期待が高まる可能性がある一方、今後数か月の結果を見極めながら施策を検討すると予想されるため、USDCNYの為替市場への影響は限定的と予想する。
- 他方、マーケットは中米の通商交渉から米国の金融政策動向へ焦点が移っている。米CPIとPPIの結果が対照的となる中で、15日時点の利下げ織り込みは9月が0.93回、年内は2.3回となっている。一部では9月の50bp利下げ等も可能性が意識されている中で、米国時間21日から23日まで開催されるジャクソンホール会合でパウエルFRB議長がどのような見解を示すかに注目したい。25bpの利下げ支持を示す発言となった場合でも、タカ派的と捉えられ、ドル高が進行する展開には警戒しておきたい。

USD/CNY, USD/CNH Spot Rate



JPY/CNY, USD/JPY Spot Rate



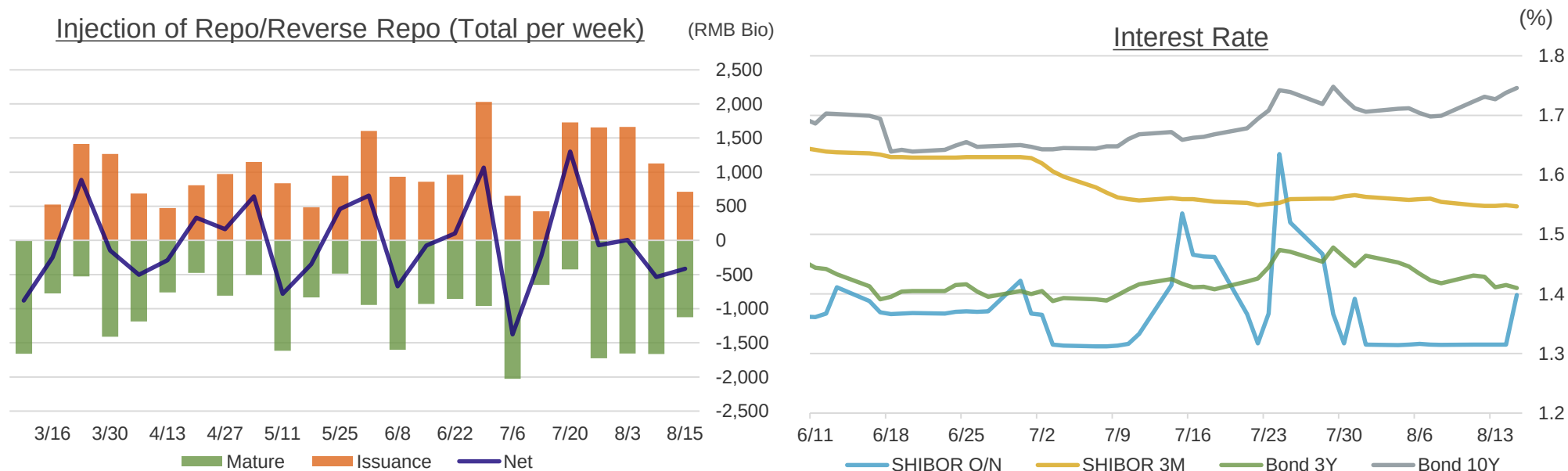
【人民元金利概況】

回顧:PBOCは2週連続でアウトライトリバースレポの実施を公表

- PBOCは7日物リバースレポにより合計7,118億元の資金供給を実施。満期到来分とネットで4,149億元の資金吸収となった。また、PBOCは15日に5,000億元のアウトライトリバースレポ(6ヶ月物)を実施。先週実施分と合わせて月間で1兆2,000億元の供給、満期到来分とネットで3,000億元の資金を供給。
- 資金市場は、7日物リバースレポによるネット資金吸収が継続したものの、資金流動性は総じて安定した状況が継続。
- 債券市場は、株式市場の堅調推移等を背景に、中長期ゾーン中心に利回りは小幅に上昇。

見通し:LPRに注目

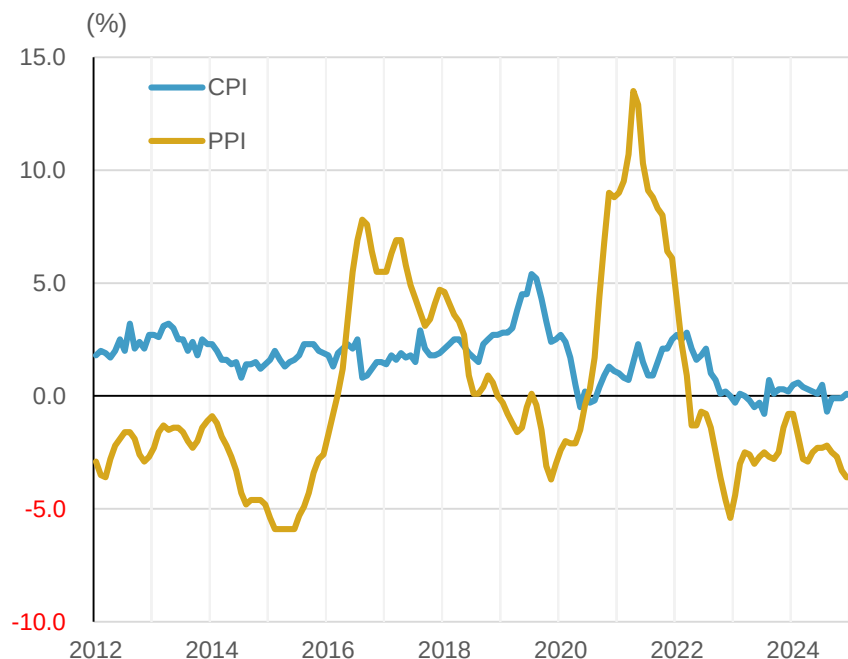
- アウトライトリバースレポによるネット資金供給が行われる中、PBOCによる流動性供給スタンスは継続していると想定。
- 15日に公表された国内主要統計は市場予想を下回る結果となった。中央政治局会議を経て後退した追加経済対策への期待が再燃する可能性もあることから、市場の反応や政府からのアナウンス等には留意したい。
- また、20日にはLPRの発表が予定されている。市場では1年3.0%、5年3.5%で据え置きの予想が大半となっている中、結果には注目したい。



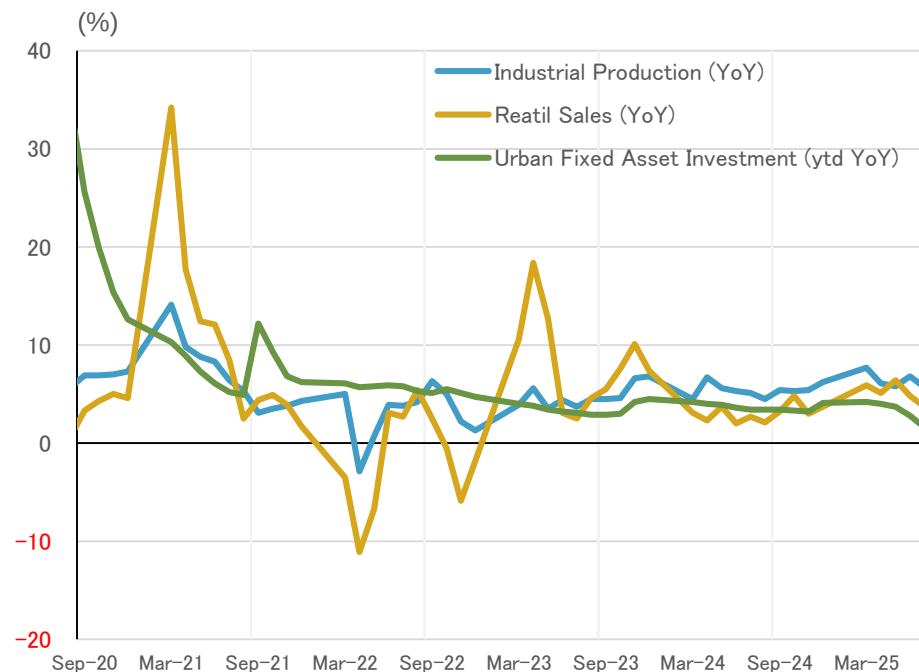
【TOPICS】 7月物価統計・主要経済指標が公表

- 9日、国家統計局は7月CPIおよびPPIを公表した。CPIは前年同月比+0.0%（予想：▲0.1%、前回：+0.1%）、PPIは同▲3.6%（予想：▲3.3%、前回：▲3.6%）となった。また、食品価格は同▲1.6%（前回：▲0.3%）、食品とエネルギーを除くコアインフレ率は同+0.8%となった。
- また、15日、国家統計局は7月国内主要統計の結果を公表。小売売上高が前年同月比+3.7%（予想+4.6%）、鉱工業生産が同+5.7%（予想+6.0%）、都市部固定資産投資が年初来前年比+1.6%（予想+2.7%）、不動産投資が年初来前年比▲12.0%（予想▲11.4%）となった。
- CPIは食料価格は前年同月比マイナスとなったことやPPIは2年10か月連続でマイナスとなったことは物価の下押し要因として継続すると見られる一方、コアインフレ率は上昇しており、過剰な価格競争が抑制された効果が表れたものと考えられる。
- 国内主要統計発表後、国家統計局は「中国経済は複雑で変化しやすい外部環境と国内の異常気象による悪影響を克服し、安定を保ちつつ前向きな発展を展開し、強靱性と活力を示した」と説明。追加経済刺激策を実施するかどうか、今後数か月の結果を確認した上で検討していくこととなると予想する。

CPIとPPI



小売売上高・工業生産・都市部固定資産投資



【マーケットデータ】

【USDCNY Daily】

DATE	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE	PBOC FIXING
8/11	7.1835	7.1903	7.1795	7.1818	7.1405
8/12	7.1878	7.1920	7.1777	7.1911	7.1418
8/13	7.1820	7.1845	7.1720	7.1755	7.1350
8/14	7.1722	7.1832	7.1670	7.1730	7.1337
8/15	7.1812	7.1846	7.1785	7.1823	7.1371

【USDCNH Daily (Reference value from Bloomberg)】

DATE	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE	Fixing*
8/11	7.1895	7.1983	7.1826	7.1965	7.1867
8/12	7.1965	7.1981	7.1812	7.1849	7.1905
8/13	7.1849	7.1883	7.1755	7.1817	7.1845
8/14	7.1817	7.1829	7.1681	7.1821	7.1727
8/15	7.1821	7.1896	7.1786	7.1859	7.1850

*CNH (HK) Fixing published at 11:15 A.M. by Hong Kong Treasury Markets Association

【SHIBOR FIXING(%)】

	8/11	LOW	HIGH	8/15
ON	1.3150	1.3150	~	1.3980
1M	1.5270	1.5250	~	1.5260
3M	1.5490	1.5470	~	1.5470
6M	1.6100	1.6070	~	1.6070
1Y	1.6380	1.6380	~	1.6400

【CNY MARKET Weekly】

	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE
USD/CNY	7.1835	7.1920	7.1670	7.1823
100JPY/CNY	4.8654	4.9042	4.8421	4.8872
EUR/CNY	8.3705	8.4155	8.3370	8.3884
HKD/CNY	0.91510	0.91939	0.91313	0.91842
GBP/CNY	9.6596	9.7480	9.6539	9.7371

【MAJOR CURRENCY Weekly (Reference value from Bloomberg)】

	OPEN(TKY6:00)	HIGH	LOW	Thursday CLOSE
USD/JPY	147.67	148.52	146.21	147.76
EUR/USD	1.1641	1.1730	1.1590	1.1648
EUR/JPY	171.95	173.02	170.97	172.11
GBP/USD	1.3435	1.3595	1.3400	1.3532
AUD/USD	0.6514	0.6569	0.6482	0.6495

(Bloomberg)

ご留意事項

・本資料に関するご照会先

- 当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。
- ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。
- 投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。
- また、当資料の著作権はみずほ銀行及びみずほ銀行（中国）に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。
- 本資料中の括弧書きで引用された出所元の文または文章の内容に含まれるまたは解釈される可能性のある意見や論評は、括弧書きの末尾に記載の出所元の意見や論評であり、当行の意見や論評を表明するものではありません。

本資料に関するご照会先：

みずほ銀行（中国）有限公司 中国為替資金部 カスタマーチーム
(Tel:86-21-3855-8888 Ex:1320～1329 & 1371～1378)

MIZUHO

瑞穂銀行